

第 27 回 母乳育児支援研修会 (実技及び講義)

2025 年 1 月 12 日 (日) 13 日 (月) 福岡市・純真学園大学

基礎から実践まで日本で唯一の体系的な研修会です**日本における母乳育児の基礎・実践 (10 カ条を) を学ぶ**

母乳育児についての基本を学びたいけれど…。たくさん文献がある中で何を学んだらいいかわからない…。施設で母乳育児を始めたいけれど、何から取り組んだらいいのか…。取り組み始めてなかなかすすまない。こんな思いにお答えします。参加者との討論を通して、意識、知識を深めていきます。どなたでも参加できます(先着 100 名)。

乳頭ケアの実技研修のみ、講義形式の研修会のみでの参加でも、両方のセッションにも参加できます

● 乳管開通法の実技を学ぼう(会場のみ)

妊娠中から必要な乳頭の手当て及び乳管開通法 重要性とその方法を学ぶ

実技講習費: 会員 7000 円 未会員 8000 円(参加者には DVD を消費税サービスで販売)

● 母乳育児支援研修会・講義編(ハイブリット開催)会場とオンラインどちらでも可

1 月 12 日 (日) 13:30~ 13 日 (月) 15:30 まで 参加費: 会員 12000 円 未会員 15000 円 学生 4000 円

第 1 部: 総論 母乳育児の意義と重要性をもう一度考える

- 1) 基調講演: なぜ、今、母乳育児なのか?
- 2) 母乳育児・内なる自然を見つめて
- 3) 母乳の栄養、および免疫について、もっと知ろう
- 4) 欧米と日本の文化の違いがもたらす母乳育児支援
- 5) 母子同室・どうして、赤ちゃんとお母さんはいっしょでなければならないの

第 2 部: 実践編 これだけは、おさえておきたい要の支援

- 6) 最近のお母さんの感覚は? 産後支援を考える

7) 母乳育児支援の要は何でしょう? 10 カ条をふまえて

8) 入院中から退院後までの母乳育児支援-ハイリスク母子も母乳育児支援が継続できるように

9) 母乳育児支援としての補足-母子の環境と医学的適応を考える-

10) 施設・地域でできることを考える~10 カ条に基づいた母乳育児支援~

質問タイム-何でも質問してみよう

● 1 月 12 日 乳頭ケア(乳管開通操作)実践研習会 受付 8:30

講師: 有道 順子(助)サンククリニック 佐藤 文彦(産) 横山病院

実践ケアファシリテーター: 九州地区 BFH 施設の助産師

時間	内容	講師
8:45~9:00	なぜ、妊娠中からの乳頭・乳房ケアが必要なのか	佐藤 文彦
9:00~9:40	妊娠中からの乳頭・乳房ケアの実際	有道 順子
9:40~11:05	グループに分かれて実技	委員会
11:05~11:45	質疑応答	委員会
11:45~12:20	昼食	
12:20~14:00	症例検討。質疑応答、まとめ	
14:00	終了	

プログラム

1月12日(日) 13:30-17:30

13:00 受付

プログラムは変更になることがあります

13:40 開会の挨拶 永山 善久(小) 日本母乳の会母乳育児支援研修会委員

第1部：総論 ー母乳育児の意義と重要性を考える

13:50~14:40

1) 基調講演：母乳育児はお母さんに優しい、それとも優しくない？ 母乳育児って何

母乳育児は栄養面だけではなく、人間形成の基盤となる。栄養から母乳育児への考え方を。

佐藤 文彦(産) 横山病院 日本母乳の会研修委員会委員長

14:40~15:10

2) 母乳育児・内なる自然をみつめて

吉永 宗義(小) 純真学園大学看護学部

15:10~15:20 質疑応答

15:20~15:30 休憩

15:30~16:10

3) 母乳の栄養・免疫について知る大切さー重要性が忘れられていませんか

最近、混合栄養を希望する母親が多くなってきている。母乳の重要性をもう一度確認する

松下 悠紀 (小) 国立病院機構九州医療センター

16:10~16:50

4) 欧米の文化と日本の文化の違いがもたらす母乳育児支援

最近、乳房を診ない、触らない専門家が增多している。それはなぜか。入院期間が短い欧米の支援との違いは？

永山 美千子 高崎市医師会看護専門学校講師 日本母乳の会研修委員

16:50~17:00 休憩

17:10~17:50

5) 母子同室：どうして赤ちゃんとお母さんは一緒になければいけないの？

どんな生き物も出産後は母子は離れません。母子を離すことはその後の母子にどんな影響を与えるのでしょうか。

林 時仲(小) 北海道療育園 日本母乳の会研修会委員



- * 日本助産評価機構のアドバンス助産師更新要件における「選択研修」
- * 日本助産師会の産後ケア実務助産師研修「学習項目⑥：母乳育児支援」に該当します。
- * 日本専門医機構認定産科婦人科領域講習を申請中。



1月13日(月) 8:45-15:30

第2部-これだけは、おさえておきたい要の支援

8:45~9:25

6) 最近のお母さんの感覚は？ 産後支援を考える

Z世代といわれる個性を尊重された世代の母親の支援について感じていること。

前田 克子(助) 山形市立病院済生館高等看護学院 日本母乳の会研修会委員

9:25~10:05

7) 母乳育児支援のかなめは何でしょう？10カ条をふまえて解説します

だれでもできる入院中の支援。そのかなめはなんですか。楽しい解説です。

大谷 ゆかり(助) 舞鶴共済病院 日本母乳の会研修会委員

10:05~10:15 質疑応答

10:15~10:25 休憩

10:25~11:05

8) 入院中から退院後までの母乳育児支援

～ハイリスク母子も母乳育児支援が継続できるように～

母子分離やハイリスク母子への母乳育児支援も大切。入院中から退院後までの支援のポイント。

阿部カナエ(助) 愛媛県立中央病院 日本母乳の会研修会委員

11:05~11:50

9) 母乳育児支援としての補足—母子の環境と医学的適応を考える—

母乳不足、即補足」、という考えになっていないか。なぜ不足するのか10カ条を基本にその環境を考える

永山 善久(小) 新潟市民病院 日本母乳の会母乳育児支援研修会委員

11:50~12:50 <休憩>

12:50~13:30

10) 施設・地域でできることを考える～10カ条に基づいた母乳育児支援～

院内で母乳育児を始め、広げるためにできること

桑間 直志(産) 富山赤十字病院 日本母乳の会研修会委員

13:30~15:10

第3部 母乳育児なんでも質問コーナー

どんな小さなことでも聞いてみよう

司会：桑間 直志(産) 富山赤十字病院

前田 克子(助)

15:10~15:20

修了書授与 :アンケート記入

15:30 閉会 挨拶 佐藤 文彦 (産) 日本母乳の会母乳育児支援研修会委員長



第27回 母乳育児支援研修会の参加要項

同封の申込用紙でお送りください。

FAX 03-5318-7384

ホームページからもダウンロードできます

●日 時：実技編 妊娠中からの乳首の手入れ（会場のみ）

2025年1月12日(日) 8時45分～14時00分

講義編（ハイブリット開催）会場・オンライン どちらでも受講可

2025年1月12日(日) 13時50分～17時50分

1月13日(月) 8時45分～15時30分

●会 場：福岡市・純真学園大学

815-8510 福岡市南区筑紫丘1-1-1 092-554-1255

●研修費：1) 実技編のみ受講 50名 7,000円(会員) 8,000円(未会員)

2) 講義編のみ受講 100名 12,000円(会員) 15,000円(未会員) 4,000円(学生)

* 12、13日の昼食お弁当含む(近くに食事ができるところがないためにお弁当を取ります)

* 講義編のテキスト代含む・

参加者にはDVD 乳首の手入れ(5500円税含む)の消費税サービス5000円で販売いたします。

●申込方法：①別紙申込用紙(ホームページから申込用紙をダウンロード可)を日本母乳の会事務局に

② peatix にて申し込みください。 <https://27th-bst.peatix.com>

●締 切 り：会場参加講義編 妊娠中からの乳首の手入れ 実技編 1月6日

講義編(ハイブリット)のみ 1月11日まで

募集人員 実践編50名、講義編は、会場は80名・オンラインは定員なし

お申し込み後、メールでご連絡いたします

* 締め切り後でも、席に余裕がある場合は受け付けますので、お問い合わせください。

●日本母乳の会 事務局：

TEL 03-5318-7383 165-0026 東京都中野区新井3-9-4 FAX 03-5318-7384

●日本母乳の会ホームページ <http://jbabf.smoosyatlas.jp/ja/>

* 日本助産評価機構のアドバンス助産師更新要件における「選択研修」

* 日本助産師会の産後ケア実務助産師研修

「学習項目⑥：母乳育児支援」に該当します。

* 日本専門医機構認定産科婦人科領域講習を申請中。

主催：一般社団法人日本母乳の会

165-0026 東京都中野区新井3-9-4

TEL03-5318-7383 FAX 03-5318-7384

E-mail sympo@jbabf.or.jp

●2日間受講された方には日本母乳の会の修了証が発行されます

